

美しくなる!?

### 秩父札所30番 法雲寺

このお寺のご本尊は中国・唐の玄宗皇帝が亡き楊貴妃を偲んで彫ったものという伝説があり、楊貴妃観音とも呼ばれています。また、楊貴妃が使ったとされる鏡もあり、参拝すると美しくなるといわれています。そのためか、女性の参拝客も増えているとか。



交通●秩父鉄道|白久駅より徒歩15分  
問●0494-54-0108

ウサギがお使いの珍しい神社!

### 調神社

浦和の総鎮守であるこの神社は、かつて伊勢神宮への御調物が集められた場所といわれています。「調」が月と同じ読み方のため、月に住むといわれるウサギ像が神社のあちこちに置かれています。また、その読み方から幸運の「ツキ」を呼ぶ神社ともいわれています。ご参拝のついでにウサギ探しもおもしろそうですね。



交通●JR|浦和駅より徒歩10分



手水舎にうさぎ!



さいたま



秩父



まわり ぶち

### 廻淵の蜘蛛

荒川上流部に流れ込む安谷川のさらに上流に底の知らない廻淵という淵があります。ここには蜘蛛の妖怪が住んでいて、人の体に糸をかけて淵に引きずりこもつと狙っているといわれます。そのため、この淵に行くときは蜘蛛に気を付けるように言い伝えられています。



四国を巡る!!

### 秩父札所16番 西光寺



四国八十八か所を巡る回廊

境内には四国八十八か所霊場の本尊の写しを集めた回廊があり、全てを拝むと四国霊場をお参りしたのと同じ功德があるとのこと。「八十八か所巡る」と興味はあるけど、疲れそう。なんて方にはここがオススメ!また、本堂の間には珍しい「釈迦涅槃像(しゃかねはんぞう)」があります。ぜひ、本堂前で見上げてみてください。

交通●秩父鉄道|秩父駅より徒歩15分  
問●0494-22-4444

おにばば

### 黒塚の鬼婆



水川神社の東方一帯はかつて「足立ヶ原」と呼ばれ、恐ろしい鬼婆が住み、女性の生き血を吸っていたという伝説が残っています。鬼婆については福島県二本松市に伝わる安達ヶ原の鬼婆伝説が有名ですが、昔の書物によると「祐慶上人が東国足立ヶ原(黒塚大黒院周辺)にて黒塚の悪鬼を呪伏した」と記述があり、実は埼玉が鬼婆伝説の本家だといわれています。



### 見沼の竜神

江戸時代に行われた大規模な見沼(さいたま市見沼区周辺)干拓の責任者の男が仕事の疲れから、病気になるてしまったところ、女に化けた竜神が現れ「病気を治すから、工事を中止してほしい」と言いました。その女は毎日現れるようになり、ある晩家来の者が様子をうかがったところ、恐ろしい蛇身が、口から炎を吐き、長い舌で男の体をなめ回していました。これ以外にも様々な竜神伝説が残りますが、これらの竜神を祀る「見沼竜神社」が水川女体神社(さいたま市緑区)の境内にあります。

やまんば

### 山姥

秩父地域にある武甲山には山姥が住み、子どもをさらうなどの悪さをしていたが、行基上人に捕えられ、松の木に藤蔓で縛りあげられました。山姥は歯を抜いて悪さをしないと誓い、行基上人に解放してもらいましたが、なお悔しさが止まず「武甲山に松藤絶えろ。松藤絶えろ。」と叫んだところ、それ以来武甲山には松と藤が生えなくなるといわれています。



### COLUMN ②

#### 幻想百物語埼玉 -妖怪編-

埼玉県では、ここで取り上げた妖怪や、その他の埼玉県の妖怪を詳しく紹介したガイドブックを作成しました。出没場所や土地に伝わる言い伝えなど、詳しく知りたい方はぜひご覧になってください。



配布場所●埼玉県聴覚報課(郵送による配布も行っています。送料をご負担いただきます。)  
問●048-830-2864(埼玉県聴覚報課妖怪ガイド係)

### COLUMN ①

妖怪伝説が多く残る埼玉県には、その伝説をもとにしたゆるキャラも多く存在します。



つるゴン(鶴ヶ島市)雷電池(かんだちがいけ)にいた雨乞いを司る大蛇



つなが電マウ(さいたま市)見沼田んぼの主の子孫



カッピー(志木市)馬を盗もうとしてお地藏さんに叱られ改心した河童(大門)の仲間